

# 景況調査（第101回 企業経営者の景気見通し）

## 三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2020年度上期実績見込み・下期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内および愛知県内の主要業種の事業所の皆様に対し景気見通しのアンケート調査を実施し、結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆さまには厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。また今回、特別調査として「新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響」について取りまとめています。

### [目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	16
9. 賃金改定	17
10. 経営上の問題	18
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	19
III. 特別調査	
新型コロナウイルス感染拡大による事業活動への影響について	24
IV. 生の声	29

## [調査の概要]

1. 調査対象：
  - ①三重県内の事業所 1,177 先 (回答 484 先/回答率 41.1%)
  - ②愛知県内の事業所 442 先 (回答 107 先/回答率 24.2%)
  - (合計調査対象数 1,619 先 (回答 591 先/回答率 36.5%))
2. 調査時期： 2020年7月中旬～7月末
3. 調査対象期間： 2020年度上期(20年4月～9月)実績見込み(文中表記「今期」)  
2020年度下期(20年10月～21年3月)見通し(文中表記「来期」)
4. 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
5. 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		484	100.0%	107	100.0%	591	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	64	13.2%	11	10.3%	75	12.7%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	420	86.8%	96	89.7%	516	87.3%
業種別	製造業	191	39.5%	43	40.2%	234	39.6%
	食料品(飲料含む)	37	7.6%	3	2.8%	40	6.8%
	繊維	8	1.7%	3	2.8%	11	1.9%
	印刷	8	1.7%	2	1.9%	10	1.7%
	石油・化学	18	3.7%	0	0.0%	18	3.0%
	窯業・土石	14	2.9%	1	0.9%	15	2.5%
	一般機器	25	5.2%	4	3.7%	29	4.9%
	電気機器	14	2.9%	4	3.7%	18	3.0%
	輸送用機器	27	5.6%	10	9.3%	37	6.3%
	その他製造	40	8.3%	16	15.0%	56	9.5%
	非製造業	262	54.1%	64	59.8%	326	55.2%
	建設	74	15.3%	17	15.9%	91	15.4%
	不動産	11	2.3%	4	3.7%	15	2.5%
	卸売	30	6.2%	15	14.0%	45	7.6%
	小売	41	8.5%	6	5.6%	47	8.0%
	運輸・倉庫	25	5.2%	5	4.7%	30	5.1%
	観光・宿泊	27	5.6%	1	0.9%	28	4.7%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	54	11.2%	16	15.0%	70	11.8%
	地場産業	31	6.4%	-	-	31	5.2%
製材	7	1.4%	-	-	7	1.2%	
真珠養殖	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
真珠加工販売	7	1.4%	-	-	7	1.2%	
鉄鉄鑄物製造	2	0.4%	-	-	2	0.3%	
萬古焼製造	5	1.0%	-	-	5	0.8%	
萬古焼卸売	9	1.9%	-	-	9	1.5%	
地域別	北勢	207	42.8%	-	-	207	35.0%
	中勢	127	26.2%	-	-	127	21.5%
	南勢	69	14.3%	-	-	69	11.7%
	伊賀	47	9.7%	-	-	47	8.0%
	東紀州	34	7.0%	-	-	34	5.8%
	愛知県	-	-	107	100.0%	107	18.1%

## 6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の算式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

## 【調査結果の要旨】

**業況感は急激に悪化、来期はほぼ横ばいの見通し。**

## 【概況】

三重県内の企業の業況判断 BSI は、2020 年度上期は△57.9 と、前期である 19 年度下期（△23.3）を 34.6 ポイント下回り、急激に悪化した。20 年度下期は△56.4 となり、ほぼ横ばいとなる見通し。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、リーマンショック（08 年 9 月）後の 09 年度上期（△66.1）に迫るマイナス幅となった。

業況判断 BSI は、調査対象全業種で今期・来期ともマイナスとなった。非製造業より製造業の方が落ち込みは大きく、とくに製造業の大・中堅企業で大きく落ち込んだ。とくにマイナス幅の大きい業種は、観光・宿泊、電気機器製造、輸送用機器製造、運輸・倉庫など。観光・宿泊は今期全企業で下降し、来期もほとんどの企業で下降見通しとなった。運輸・倉庫は貨物・旅客とも需要減で、来期は改善も厳しさを続く見通し。電気機器は来期さらに下降。輸送用機器は自動車関連が落ち込み、来期やや改善も厳しさを続く見通し。一方、今期マイナス幅が小さいのは、建設、食料品製造、サービスであるが、建設は来期は下降、サービスのうち飲食サービスは今期・来期とも非常に厳しい。コロナ前の水準にまで業況を回復する時期は、「2021 年秋以降」が最も高く、「2021 年夏頃」と合わせた約 4 割が、少なくとも今後 1 年間は以前の水準まで回復しないとみている。

機械・設備の稼働状況は、50%未満の低稼働率の企業割合が上昇。設備投資（投資額 500 万円以上）を実施する企業割合は 9 年ぶりに 40%を下回った。人員の不足感は急速に弱まり、製造業では「過剰」が「不足」を上回った。夏季賞与を支給する企業割合は低下し、総支給額は製造業で前年夏と比べて「減少」が「増加」を大きく上回った。賃上げした企業割合は前年の約 7 割から 5 割強に低下。平均賃上げ率は 2.00%割れとなった。経営上の問題では、「売上不振」がリーマンショック後の 09 年度上期以来 11 年ぶりに 1 位となった。

BSI	判断	2019 年度 下期 (前期)	2020 年度 上期 (今期)	2020 年度 下期見通し (来期)
業況判断 BSI	3 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△23.3	△57.9	△56.4
大・中堅企業	3 期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小	△23.8	△66.7	△55.6
中小企業	3 期連続のマイナス、来期は横ばい	△23.2	△56.6	△56.6
売上高 BSI	2 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△13.1	△54.1	△53.0
販売数量 BSI	3 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△15.5	△56.6	△54.9
在庫量 BSI	2 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△1.0	△4.5	△9.2
販売価格 BSI	7 期ぶりのマイナス、来期はマイナス幅拡大	1.8	△13.9	△20.0
仕入価格 BSI	プラスも大幅改善	29.5	8.1	7.9
採算 BSI	3 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△15.7	△46.3	△48.3
資金繰り BSI	2 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	△2.7	△23.1	△26.4
設備過不足感	15 期連続「不足」が「過剰」を上回るも低下	8.9	2.4	—
設備投資実施割合	9 年ぶりに 40%下回る、来期は上向き	44.7%	37.2%	42.5%
雇用過不足感	20 期連続「不足」が「過剰」を上回るも大幅低下	47.2	13.5	—

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

## 1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは大きく下降し、今期3期連続のマイナスに。来期はほぼ横ばい。

### ◆全企業

業況判断BSIは、2020年度上期(以下、今期)は $\Delta 57.9$ と3期連続のマイナスとなり、2019年度下期(以下、前期) ( $\Delta 23.3$ )及び今期見通し ( $\Delta 16.7$ )を大きく下回った。

2020年度下期(以下、来期)は $\Delta 56.4$ となり、ほぼ横ばいの見通し。

### ◆業種別 …製造業・非製造業ともに落ち込むも、製造業の落ち込み幅大きい。

※ 今期BSIのマイナス幅の小さい業種順に記載。

◇製造業 …今期 ( $\Delta 63.2$ ) は大幅なマイナスで3期連続のマイナスに。来期 ( $\Delta 57.9$ ) はやや改善。

- 【食料品】 今期2期連続のマイナス、マイナス幅は全業種中2番目に小さい ( $\Delta 37.8$ )。来期は横ばい。今期売上高の落ち込み小さい。内食向けなど堅調。
- 【窯業・土石】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はマイナス幅縮小。販売価格は今期・来期ともプラス。
- 【その他製造】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はほぼ横ばい。
- 【印刷】 今期8期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はマイナス幅拡大。
- 【一般機器】 今期4期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期は横ばい。
- 【石油・化学】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はマイナス幅大幅縮小。
- 【輸送用機器】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス ( $\Delta 81.5$ )、来期はマイナス幅縮小。自動車の減産、需要減など影響。販売数量は来期やや改善見通し。
- 【電気機器】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス ( $\Delta 85.7$ )、来期はさらに悪化 ( $\Delta 92.9$ )。販売数量は来期さらに悪化する見通し。
- 【繊維】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期は横ばい。

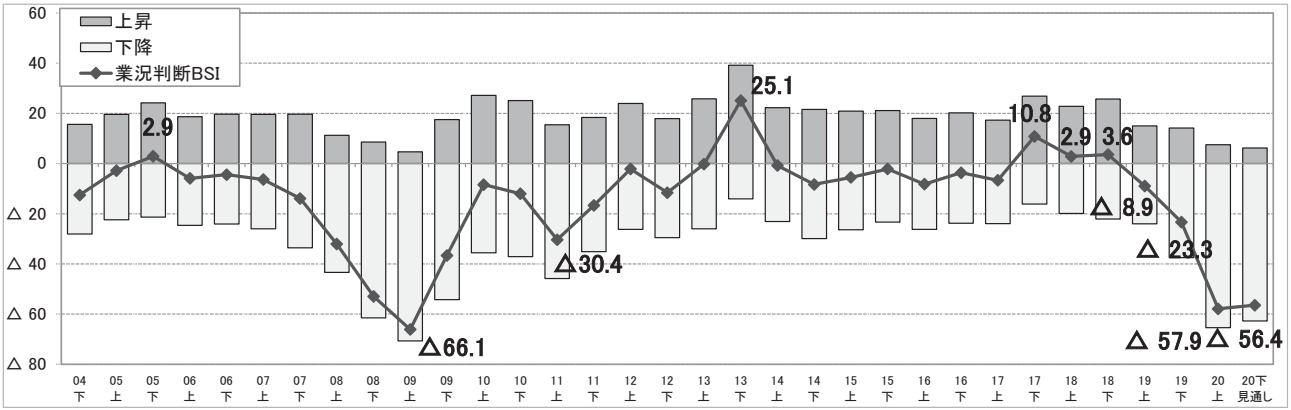
◇非製造業 …今期 ( $\Delta 50.8$ ) は大幅なマイナスで5期連続のマイナスに。来期 ( $\Delta 52.9$ ) はほぼ横ばい。

- 【建設】 今期2期連続のマイナス、マイナス幅は全業種中で最も小さい ( $\Delta 23.0$ )。来期はマイナス幅拡大。今期、土木は比較的堅調。設備・建築は厳しい。
- 【サービス】 今期4期連続のマイナス、マイナス幅は全業種中で3番目に小さい。来期はマイナス幅縮小。技術・専門、ビルメンテなど一部堅調。飲食は厳しい。
- 【不動産】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期は横ばい。
- 【小売】 今期13期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はほぼ横ばい。
- 【卸売】 今期3期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期はマイナス幅縮小。
- 【運輸・倉庫】 今期2期連続のマイナスで大幅なマイナス ( $\Delta 76.0$ )、来期はマイナス幅縮小。今期、販売数量の落ち込み大。貨物、梱包、旅客、観光バス、貸切バスなど厳しい。
- 【観光・宿泊】 今期3期ぶりのマイナス、全企業で下降 ( $\Delta 100.0$ )。販売数量は全企業で減少。販売価格もマイナス幅最大。来期も非常に厳しい見通し ( $\Delta 92.6$ )。

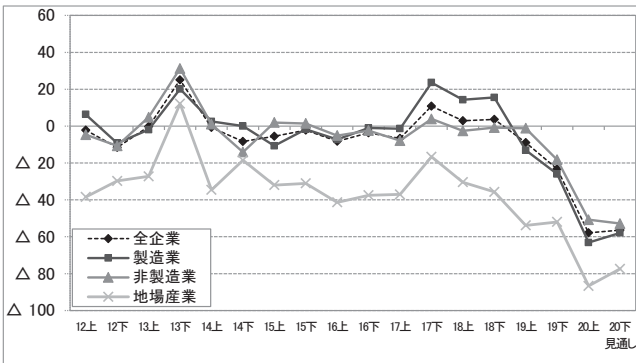
◇地場産業 …今期 ( $\Delta 86.7$ )、来期 ( $\Delta 77.4$ ) とも大幅なマイナス。

I. 三重県

■ 業況判断BSIの推移



■ 業況判断BSI（業種3区分別）



■ 業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		（前回調査時点）										
		16上	16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下	20上 (見通し)	20上	20下 (見通し)
全企業		△ 8.2	△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 16.7	△ 57.9	△ 56.4
規模別	大・中堅企業	△ 7.1	△ 2.8	3.8	26.2	14.7	6.1	△ 6.3	△ 23.8	△ 11.1	△ 66.7	△ 55.6
	中小企業	△ 8.5	△ 4.1	△ 8.7	8.2	0.7	3.2	△ 9.3	△ 23.2	△ 17.7	△ 56.6	△ 56.6
業種別	製造業	△ 7.3	△ 1.0	△ 1.4	23.6	14.3	15.5	△ 13.1	△ 26.0	△ 12.9	△ 63.2	△ 57.9
	食料品	16.1	4.5	△ 16.7	△ 4.7	△ 7.7	△ 2.7	0.0	△ 24.1	△ 6.9	△ 37.8	△ 37.8
	繊維	22.2	△ 14.3	△ 8.3	12.5	△ 11.1	11.1	△ 12.5	△ 50.0	△ 33.3	△ 87.5	△ 87.5
	印刷	0.0	△ 9.1	△ 42.9	△ 10.0	△ 42.9	△ 50.0	△ 10.0	△ 33.3	△ 22.2	△ 62.5	△ 75.0
	石油・化学	△ 11.1	29.4	21.4	43.8	13.3	35.3	△ 14.3	△ 40.0	△ 6.7	△ 64.7	△ 17.6
	窯業・土石	△ 23.5	△ 16.7	△ 11.8	0.0	18.8	13.3	△ 7.1	△ 14.3	0.0	△ 57.1	△ 35.7
	一般機器	△ 21.4	0.0	19.0	47.6	50.0	△ 5.6	△ 40.0	△ 23.8	△ 40.9	△ 64.0	△ 64.0
	電気機器	△ 31.3	8.3	10.0	50.0	12.5	7.7	△ 6.7	△ 11.8	0.0	△ 85.7	△ 92.9
	輸送用機器	△ 3.6	0.0	20.0	50.0	22.7	13.3	△ 23.3	△ 39.1	△ 30.4	△ 81.5	△ 74.1
	その他製造	△ 9.4	△ 11.5	1.9	26.2	25.9	47.6	△ 10.6	△ 20.9	0.0	△ 62.5	△ 65.0
	大・中堅企業	△ 18.6	0.0	15.2	36.8	23.1	8.8	△ 3.1	△ 38.2	△ 17.6	△ 74.2	△ 61.3
	中小企業	△ 4.0	△ 1.3	△ 6.0	20.3	12.1	17.0	△ 15.2	△ 23.1	△ 11.8	△ 61.0	△ 57.2
	非製造業	△ 5.2	△ 2.4	△ 7.9	3.9	△ 2.6	△ 0.8	△ 1.2	△ 18.3	△ 16.3	△ 50.8	△ 52.9
	建設	△ 13.2	△ 7.8	△ 8.1	13.5	5.1	3.5	1.2	△ 12.5	△ 18.1	△ 23.0	△ 45.9
	不動産	14.3	△ 7.1	0.0	21.4	6.3	0.0	△ 6.7	△ 15.4	△ 7.7	△ 54.5	△ 54.5
	卸売	△ 13.2	10.7	△ 8.0	3.6	3.1	10.3	△ 6.3	△ 18.5	△ 23.1	△ 63.3	△ 51.7
	小売	△ 13.9	△ 20.6	△ 17.2	△ 21.2	△ 20.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 48.5	△ 48.5	△ 56.1	△ 53.7
	運輸・倉庫	△ 12.5	△ 4.0	10.7	8.0	△ 8.8	8.3	3.7	△ 24.1	△ 17.2	△ 76.0	△ 64.0
	観光・宿泊	33.3	28.6	△ 20.8	△ 15.8	△ 22.7	△ 13.6	21.4	10.0	20.0	△ 100.0	△ 92.6
サービス	△ 2.1	0.0	△ 8.2	7.7	3.8	△ 5.8	△ 8.7	△ 14.9	△ 4.3	△ 40.7	△ 37.0	
大・中堅企業	5.0	△ 6.5	△ 11.8	11.1	5.6	3.1	△ 6.7	△ 3.6	0.0	△ 59.4	△ 50.0	
中小企業	△ 7.1	△ 2.3	△ 7.3	2.9	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.5	△ 20.2	△ 18.4	△ 49.6	△ 53.3	
地場産業	△ 41.4	△ 37.5	△ 37.0	△ 16.7	△ 30.4	△ 35.7	△ 53.8	△ 52.0	△ 50.0	△ 86.7	△ 77.4	
製材	20.0	0.0	△ 16.7	△ 37.5	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 50.0	△ 12.5	△ 57.1	△ 42.9	
真珠養殖	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	△ 100.0	
真珠加工販売	△ 33.3	△ 66.7	△ 16.7	△ 33.3	0.0	△ 60.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	△ 100.0	△ 100.0	
銑鉄铸件	△ 50.0	△ 33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	△ 75.0	△ 75.0	△ 100.0	△ 100.0	
萬古焼製造	△ 25.0	0.0	△ 25.0	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 60.0	△ 33.3	△ 66.7	△ 100.0	△ 80.0	
萬古焼卸売	△ 72.7	△ 57.1	△ 87.5	△ 44.4	△ 83.3	△ 77.8	△ 75.0	△ 75.0	△ 62.5	△ 88.9	△ 77.8	

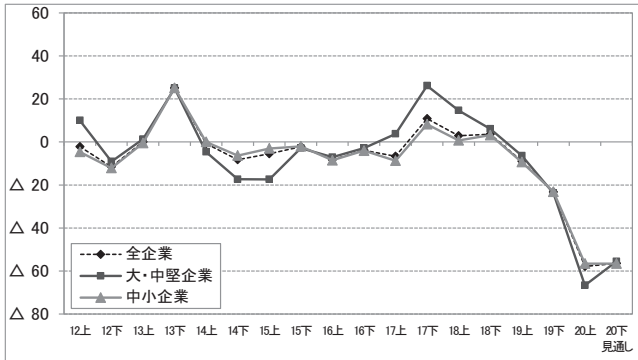
※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

◆企業規模別 …大・中堅企業、中小企業ともに大幅マイナス。とくに製造業の大・中堅企業で厳しい。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、今期は、大・中堅企業（△66.7）、中小企業（△56.6）ともに3期連続のマイナスとなり、マイナス幅が拡大した。来期は、大・中堅企業はマイナス幅が縮小、中小企業は横ばいとなる見通し。

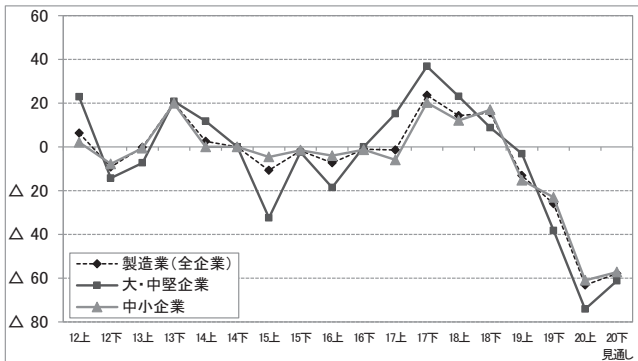
今期、大・中堅企業の方が中小企業より落ち込みが大きく、とくに製造業の大・中堅企業で大きく落ち込んだ。来期は改善するものの依然厳しい見通し。

■業況判断BSI（企業規模別）

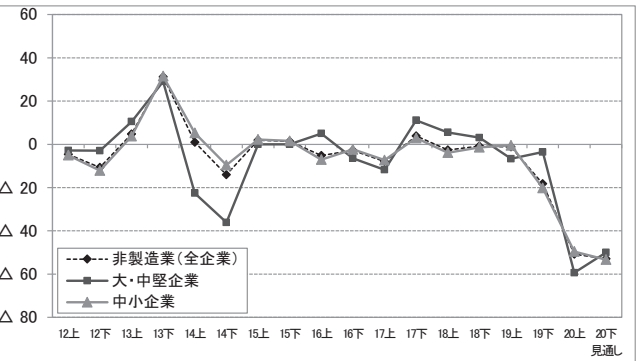


※左図のデータには、地場産業を含む

（製造業・企業規模別）



（非製造業・企業規模別）



◆地域別 …今期・来期とも全地域でマイナス。南勢地域の落ち込み最も大きい。

業況判断 BSI を地域別にみると、いずれの地域も今期・来期ともにマイナスとなったが、とくに南勢地域で落ち込みが大きい。業況判断 BSI が△100.0 となった観光・宿泊の割合が高いためとみられる。一方、東紀州地域は比較的落ち込みが小さいが、マイナス幅の小さい建設の割合が高いためとみられる。

■業況判断BSI（地域別）の推移

	（前回調査時点）										
	16上	16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下	20上 (見通し)	20上	20下 (見通し)
全地域	△ 8.2	△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 23.3	△ 16.7	△ 57.9	△ 56.4
北勢地域	△ 10.6	△ 8.1	△ 5.8	21.1	7.5	8.4	△ 12.0	△ 33.3	△ 21.9	△ 63.6	△ 54.9
中勢地域	△ 10.5	△ 0.9	△ 10.1	3.4	△ 1.6	2.7	△ 6.5	△ 15.9	△ 12.4	△ 61.4	△ 57.5
南勢地域	△ 1.5	1.4	△ 13.9	△ 17.5	△ 1.5	△ 13.5	△ 4.9	△ 11.1	△ 8.1	△ 66.2	△ 70.6
伊賀地域	2.5	1.8	17.4	23.3	11.1	13.3	△ 8.1	△ 21.3	△ 12.8	△ 40.4	△ 53.2
東紀州地域	△ 13.3	△ 8.1	△ 18.5	4.0	△ 11.8	3.1	△ 6.7	△ 14.3	△ 25.0	△ 17.6	△ 38.2